



校報

## 水糸者

No. 1290

元年度・第149号

## 教育振興運動、今・昔

あさっての洋野町教育振興大会では、すでにご案内の通り本実践区の情報メディアに関する発表も予定されています。子ども達の憂慮すべき実態からの具体的な取り組みを、田毛PTA会長と鈴木副校長が発表しますので、多数の方々のご参加を期待しています。

岩手県の教育振興運動といっても、今の若いお父さんやお母さん方はあまりピンとこない年代かもしれません。一時期、洋野町の教育実践大会では「合唱」をメイン

（その前の主流は、「学力向上」、「健全育成」、「健康・安全」の3分野に分かれての参加者同士の討議でした。）とした時もありますので、学校で歌の練習を繰り返した記憶をお持ちの方もいるかも知れませんね。

岩手県の教育振興運動は、1965年（昭和40年）に提唱されたもので、このような教育運動は、全国的に見ても極めて珍しいものであり、現在の岩手の教育の根っことして、その当時の「誇り」や「情熱」、「使命感」は脈々と受け継がれています。この運動の柱は「学力向上」、「健全育成」、「健康・安全」でそれも現在まで引き継がれている『幹』をなすものです。

岩手県生涯学習振興協会会報45号には、二戸市教育委員会の鳩岡教育長さんの『一冊の日焼けした本』と題した、手記が掲載されていました。

鳩岡教育長さんのこの手記は、1973年（昭和48年）に勁草書房から出版された「北上山地に生きる ～日本の底辺からの報告～」の内容を基にしたものです。

なお、この「北上山地に生きる～日本の底辺からの報告～」は、河北新報盛岡支社の記者が東・西磐井郡から二・九戸郡までの広大な地域を丁寧に取材したドキュメンタリーです。



過日開催した地域教育協議会。その組織の中に種市実践区も位置付けられています

## 〔余談〕

私が小学校1年生当時（昭和41年）に、岩手県で教育振興運動がスタートしたわけです。当時の担任の先生が「これから、教育振興運動が始まる。」という事を話していたことは、おぼろげながら記憶に残っています。文房具屋さんや八百屋さんに来るお客さんの中には「教振をください」と言って入って来た人もいたそうで、今では笑い話として伝わっています。それほど、当時の皆さんは教育に、教育振興運動に本気だったんですね。当時の「熱さ」を感じる逸話です。



鳩岡教育長さんの『一冊の日焼けした本』の概要が次のとおりです。

「A村のB小学校は（原文は全て実名）全国でも恐らく例がないだろう『入浴通信』を毎週発行している。なにしろ調査したら1週間に一度入浴すると答えた児童は良い方。10日に一度か月に一度が最も多く、風呂に入った記憶がないという子さえいた。（一部原文省略）」また、このような記述もある。

「C子ちゃんはライオンを知らない。小学校1年生になる前の知能テストでライオンの絵本を見せられ『これ、なあに?』と聞かれた時、目をキョロキョロさせていた。このD町E地区では絵本やカルタを子どもに買ってやる親はいない。」

一方、学力に目を向けると、昭和41年全国学力テスト（小学校5年）の状況が示されているが、算数を見ると全国平均が39.5点、岩手県平均が31.5点、岩手県内辺地校平均が26.5点という結果である。このような現実の中で、教育振興運動の3つの柱にはそれぞれ「子どもに勉強机を（リンゴ箱で十分）」「お土産には本を」「風呂に入れよう」というスローガンが付いた。（略）

教育振興運動は令和の時代に入り、55年目を迎える。全国との学力格差は縮小し、生活水準も向上したが、今日なお地域格差や家庭環境の格差が子どもの教育に影響を与えているのが現実である。（略）

「子どもに勉強机を（リンゴ箱で十分）」、「お土産には本を」、「風呂に入れよう」で、現在解決したスローガンもありますが、ゲーム機やスマホ乱用による子どもの心と体の危機が叫ばれ、「ゲーム障害」が疾病に認定される時代だからこそ、今後一層大切にされないといけないスローガンもあります。

保護者や地域の皆さんなら、この3つのスローガンに何を当てはめ、子どもに提示したいですか？

ここに当てはまるスローガンは、目の前のかわいい種小っ子達の健全で明るい未来のために、私たち大人に与えられた、重く大きな宿題となっています。

## 今年の活動を披露したクラブ発表会

29日にクラブ発表会がありました。これは来年度からクラブに加入する3年生に、普段の活動の様子を紹介することで、加入時の参考にしてほしいとの願いで行われたものです。

球技クラブ、バドミントンクラブ、卓球クラブ、理科クラブ、家庭クラブ、工作クラブの6つのクラブのコミカルな紹介で、3年生だけでなく、4～6年生の子ども達も笑い転げ、普段の楽しく充実した活動の様子が伝わってきました。3年生の笑顔から、来年度から始まるクラブ活動への期待が高まったことがわかった、良いクラブ発表会となりました。



3年生の笑顔が、この1年の各クラブの充実ぶりを物語っています。

